

# 私たちの活動から

藤原ミラ

一九九四年五月一日、私たちは F F O (Filipino Friendship Organization : フィリピン人友好協会)

と呼ぶ私たち独自の集団を組織することに決定しました。F F O は、福山及び尾道・三原・東城などのような福山近辺に住み、日本人男性と結婚しているフィリピンの女性たちによって構成されています。地域は広島県東北部に限られていますが、今はたくさんの方がいます。

現在、日本にはたくさんの方の国際団体があります。F F O もこれらの国際団体のように、活動目標を設定しています。

- ① 日本の社会環境に慣れようとしている会員同士の相互協力・援助を行なうこと。
- ② 日本人とフィリピン人の平和的・調和的・友愛的な関係を促進し高めること。

③ 両国間の国際親善に貢献すること。——例えば、日本人とフィリピンの相互理解を求めて、日本人にフィリピンの文化・伝統・情報・歴史などを紹介すること、など。

以上が F F O の活動目標の柱です。

私たちが定期的に行なっている活動の一つは、さまざまな理由で外出することが困難なフィリピン人たちを訪問することです。この活動を通して私たちは、お互いの生活上の考え方・信念・展望などを共有することが出来ますし、日常生活の中で遭遇する諸問題や苦しみも、お互いに分かりあえる事が出来ます。私たちは、福山近郊のほとんどのフィリピン人たちを訪問しました。彼女たちの半数はとても幸せに生活しています。しかし不幸なことに、残りの半数のフィリピン人たちは悲惨な状況に

あります。両国間の文化と伝統の違いが、この悲惨さを生み出している主な理由の一つです。そして時にはその違いが、最終的に夫婦間の確執となってしまふのです。そのような関係になってしまった時、実際にある夫たちは、言葉のアクセント・発音そして私たちが作った料理の味や他のあらゆる物に対して、私たちフィリピン人を侮辱しました。結局、ある日本人たちは私たちがフィリピン人であるがため私たちを差別している、と思わずには居られませんでした。

また別の活動として、料理の集い・講演会・討論会への参加、あるいは日常的に公私の施設・学校・幼稚園で開催されるさまざまな行事への招待を受け入れること、などがあります。この二年間で私たちは、きついスケジュールをこなしてきましたが、つらいとは思いませんでした。私たちが移り住んでいる日本社会は、少しずつですが私たちフィリピン人だけでなく、他のアジアの人たちのことも理解し始めている、と感じています。そしてそのことが日本を、日本人にとってはもちろんのことあらゆる民族にとって、快適で楽しく生活出来る国にすることでしょう。

最後に、F F Oの成功に関わって頂いたすべての人たちに感謝したいと思います。皆様の援助がなければ、私

たちは何も行なう事が出来ません。また、いつも私たちを支え理解してくれているF F O会員の夫たちにも感謝しています。

ああ、神よ！ あなたにも感謝します。これからも、私たちに今まで以上の活力と強さを与えて下さいませよう、お祈りします。

(訳・矢野智之)



〈F F Oのメンバー・左端がミラさん〉